



2024 かながわユースフォーラム —育てよう、未来への種— 報告書

主催 かながわユースフォーラム実行委員2024
(神奈川大学社会教育課程 学生有志)

かながわユースフォーラム2024

学生代表 高梨瑛士（経済学部3年）



ユースフォーラム2024代表の経済学部3年、高梨瑛士です。2月からスタートしたユースフォーラムの活動を通じて、私自身、多くの学びと成長を経験することができました。活動が進む中で、時にはモチベーションを維持することが難しい時期もありましたが、先生方のご指導や、コーディネーターの方や先輩方からの温かいアドバイスに支えられ、再びフォーラム作りに真摯に向き合うことができました。毎週の授業での経過報告や、休み明けに行われた学生説明会を通じて、人前で話すことに対する緊張感も少しずつ和らぎ、徐々に自信を持って発言できるようになりました。特に説明会での参加者の反応や、仲間からの励ましの言葉が、これまでの取り組みが無駄ではなかったことを実感させてくれ、さらに前向きに活動を進める原動力となりました。他の分科会の仲間たちとは、より密な連携ができた部分が多くありました。また、みんながそれぞれの場所で懸命に取り組む姿は、もっと頑張らないといけないと、私自身を大いに奮い立たせてくれました。理想のリーダー像には及ばなかった部分も多々ありますが、皆様のお力添えのおかげで「かながわユースフォーラム2024」を無事に終えることができました。今後とも皆さんとのつながりを大切にしながら、次なる挑戦へと進んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

運営チーム



全体会



子育て班



多文化共生班

先輩サポーター

（左上から時計回り）

池島由樹（人間科学部4年）

中田千雅（人間科学部4年）

古門克樹（経済学部4年）

山田優菜（人間科学部4年）

山室遥（人間科学部4年）

吉沼美優（人間科学部4年）



不安が多い中でも、励まし合いながら前向きに取り組む姿が印象的でした。当日も堂々と準備の成果を発揮できていて、素晴らしいかったです！

私たちも微力ながらサポートできたことを嬉しく思います！

かながわユースフォーラム2024

実行委員長 齊藤ゆか



「三人で行えば我が師あり」（論語：三人行、必有我師焉）

一人ではできないけれど、三人いれば、三つの知恵が集まり、新しい方向に動き出す。たまに三人の意見が食い違う時もある。ただ、互いを支え合う三角形は、やがて三人の師となる。

「かながわユースフォーラム」は、若者（Youth）が主役となる「若者参画型交流事業」。若者の目線から、地域・社会課題にみつめ、テーマを見つけ、地域の様々なセクターの大人の知恵をエネルギーに転換させて地域貢献活動を行う。協働型プロセス学習といえる。

2020年から始まったフォーラムの当日は、若者が若者に対してファシリテート、プレゼン、展示紹介など、若者同士の学び合いを行う。大人はあくまで「見守り役」に徹する。正に、参画型学習の「Teaching and Learning Transaction」に基づく。

では、「若者」とは何者なのか？ かつて私も若者だったけれど、いつの間にか大人と化した。年齢が離れるほど、若者の気持ちが遠ざかる。だからこそ、大人は、若者から学ぶ必要がある。複数の辞典によれば、「若者」とは、「経験が浅い」「力も十分ついてない」「深く考えない」「勢いにまかせて行動する」「しなやかでやわらかい」。同義語に「若年」「若輩」「若手」、「若気の至り」の故事もある。大人は、彼らの心の揺らぎに「寄り添う」ことが大事。

フォーラムの準備段階では、彼らを鼓舞したり、叱咤したりする場面がある。一方、プレッシャーからフリーズしたり、キャパオーバーしたりする若者も散見される。その際は、大人が「助け船」を出す。若者が常に「安心できる」「失敗してもよい」環境が不可欠だ。時に彼らは涙する場面もあるが、必ず奮起して次のステージへ歩み出す。こうした若者のひたむきな姿は眩しい。

この度は、横浜市内の行政、高校、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、町内会、子育て支援等の民間団体の関係者の方々にお力添え頂き、心から感謝したい。毎年、若者たちは目まぐるしく変わり、教員は再びゼロ地点から教育をスタートする。

いわば学生は「風」の存在、地域人は「土」の存在となる。この「風と土」を組み合わせ、横浜の地で、若者らしく活躍できる「風土」を創り出していきたい。

これからも、引き続き応援をお願いします。

（神奈川大学/人間科学部教授・社会教育課程担当教員）

かながわユースフォーラム2024

副実行委員長 寺嶋正尚



本年5回目を迎えた「かながわユースフォーラム」が無事開催され、それが大盛況のうちに終わりましたこと、関係する多くの皆様方に心より御礼申し上げます。私は社会教育課程の科目である「地域デザイン演習Ⅳ」を、齊藤ゆか先生と共同で担当しております。この過程を通じて学生がたくましく、しなやかに育っていく様子を拝見致しますことは、毎年ながら教員冥利に尽きると嬉しく思う次第です。今回、この授業に関わった学生は、早い時期から授業終わりや昼休み、さらには休日返上する形で、グループ全員でプロジェクトに取り組み、形にしていきました。私が今学生であったなら、一緒に参加したいなと強く思うような、時に喧々諤々しながら、時に支えあいながら、素晴らしいチームワークを見せてくれました。ここで身につけた様々な力は、今後皆さんが社会に出た後、きっと大きな財産になるものと確信しています。

また本年度は、経済学部・寺嶋ゼミとして、2つの分科会に参加させて頂きました。3年次ゼミが「町内会と学生をつなぐ防災スタンプラリー」分科会に、4年次ゼミが「オレオレ詐欺を一掃せよ！」分科会にです。前者は斎藤分南部町内会の方々に、また後者は産業能率大学・武内千草先生やそのゼミ生、また戸塚警察署の方々等到大変お世話になりました。こうした多くの方々の支えがあって初めて成り立つフォーラムなのだと、改めて皆様に感謝申し上げます。本年度のかながわユースフォーラムのテーマは「育てよう 未来への種」でした。来年度以降もまた多くの新たな種が育ち、そしてそれが開花しますよう、心から願っています。有難うございました。

（神奈川大学/経済学部教授・社会教育課程担当教員）



2月に初めて集まった時、みんなポカーンとしていたよね。テーマが決まり、ご協力いただける方々に挨拶に行った3月。まだ緊張と迷いの中にいたね。4月、新しいメンバーも入り、幾つものハードルを越えながら次第に『ワンチーム』に！目標に向かって切磋琢磨する姿は、とっても素敵でした。そして何度も練習を重ねて迎えた当日、堂々としたみんなの姿に胸が熱くなりました。当日参加の学生たちも「新たな一歩」を踏み出す勇気をもらったことと思います。

（社会教育課程 地域コーディネーター 益田麻衣子・木下直子）

かながわユースフォーラム2024概要

「育てよう 未来への種」

「思い」

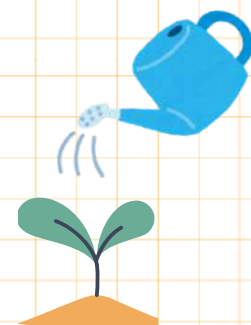
これまで先輩方が広げてくださった様々なつながりを「種」と見立て、それらを継続しつつより発展した活動を行っていく（育てていく）。キーワードは「継続性」とし、若者の継続的な社会参加を推し進める。

「目的」～実践力に富む人材育成を目指して～

- ①成長支援：学生みずからが、主体的に地域・社会課題へチャレンジ（企画・運営・実施）を通じて、「実践的能力」を育成する。
- ②地域社会との交流推進：新型コロナウイルスの影響により失われた、地域における体験・挑戦の機会(地域参画)や、世代を超えた交流、新たな人との出会いやつながりづくりの機会創出を行う。
- ③潜在層への支援：潜在的な学生ボランティア層に向けて、「地域の未来に何ができるのか」、社会課題・地域課題の解決に向けたテーマに対して、学生同士が考え、議論し、提案する機会の設定を行う。

「未来への種を育てる」ためのSTEP！

- STEP 1：地域課題の洗い出し・班分け（1～4月）
 STEP 2：地域課題の共有（5月上旬）
 STEP 3：若者ができる地域実践＝具体的なプロジェクトを探る（5月下旬）
 STEP 4：プロジェクトの実行（6～7月）
 STEP 5：プロジェクトの実践内容と成果をユースフォーラムで分科会として報告するとともに、次年度に向けて反省点などを共有（7月13日）
 STEP 6：継続して地域と関わっていく（7月～）



【学生参画メンバー】

代表：高梨瑛士(経済学部3年)
 副代表：酒井夢宙(経済学部3年)
 藤田悠菜(人間科学部3年)
 3年生：21人
 4年生(サポーター)：5人

全員で
約半年間
頑張りました☺



「かながわユースフォーラムの軌跡」

2021

若者と歩む地域の未来



2020
若者自らが、
一歩踏み出すひろがる未来



2022
地域に輪を広げよう

2023

「人の和」をつなげよう



2024

「育てよう 未来への種」

かながわユースフォーラム2024

- ✧開催日程
- ✧開催場所
- ✧構成

2024年7月13日（土）13：00～16：00

神奈川大学横浜キャンパス3号館3階

社会教育課程・地域デザイン演習Ⅳ履修者の学生による2つの分科会および5つのゲスト分科会による実践報告と、13の団体によるパネル・ブース出展

学生約250人の方が来てくれました！



⇒当日プログラム

時間	内容	備考
13：00	開会式	開会・フォーラム趣旨説明・学年代表挨拶
		アイスブレイク
		全体・分科会の流れ説明
13：30	分科会	分科会・パネル見学①
		分科会・パネル見学②
		分科会・パネル見学③
15：40	閉会式	分科会振り返り
		アンケート記入
		学年代表挨拶
		全体写真撮影・閉会

305 パネル展示＆ブース出展

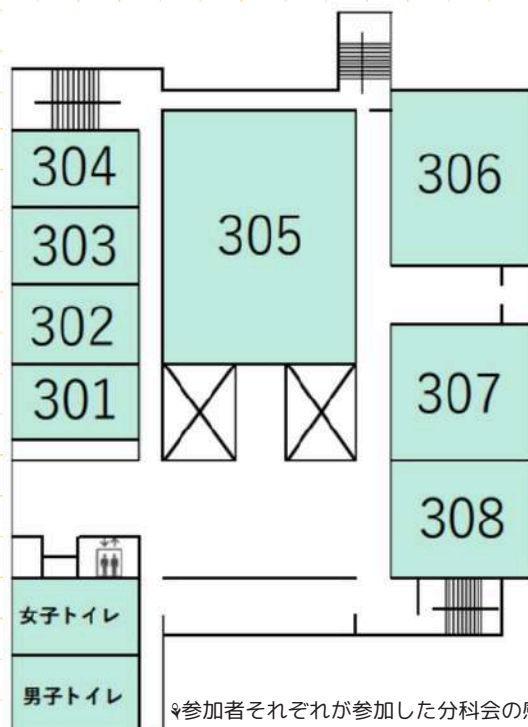
- ・高校生とSDGs ・住みたいまち住み続けたいまち神奈川区 ・青少年の活動って？ ・サステナブル研究部ってなに？
- ・向き不向きよりも前に！準備で変わるボランティア体験 ・自分らしくいれる子どもの遊び場 ・コーヒーを通じた活動
- ・大学生応援プロジェクト ・食と農の学び ・読書を促進するには ・横浜まち歩き
- ・学生ボランティア支援 ボランティア支援室 ・NPOインターンシップ アクションポート横浜

304
大学生×外国ルーツの
子どもたち

303
海外ボランティア×大学生

302
町内会×防災

301
学生×防犯



306
大学生×子どもたちの
コミュニティ

307
大学生×子育て支援

308
学生×ジェンダー

※参加者それぞれが参加した分科会の感想、印象に残ったパネル展の感想を記入した。

※参加者は、3クールのうち2クールは2種類の分科会に参加し、1クールはパネル見学した。

分科会① 大学生×子育て支援

ミライを語ろう！子育て会議！



◎実施概要

1・3クールでは子育てやその支援に関わっている方々からお話を聞く『ヒューマンライブラリー』、2クール目では「どんな子育て支援があったらいいか」を考えるゲームを実施することで、学生にとって子育てが身近なものとなる機会とした。

◎企画・運営メンバー

高木柚香・宮内春菜・米川実李・槇田杏・中山円茄・小澤陽葉・藏並弘大・安田美咲姫・藤田悠菜

◎アドバイザー

益田麻衣子（地域コーディネーター）

◎連携団体

ふれあいっこ三ツ沢・六角橋地域ケアプラザ
神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ
すくすくかめっ子（六角橋北原・神北・六角橋公園集会所）

◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

学生が未知の体験である「子育て」について考える分科会を企画することは大きな挑戦であり、不安もありましたが、訪問した子育て支援拠点の方々が親身に相談に乗ってください、子育てのリアルな悩みややりがいを学生に伝えることができました。当日のヒューマンライブラリーでは子育てに対するイメージが変わったという声が多く上がり、2クール目のゲームでは学生の視点から支援のニーズについて考えることができました。分科会を通じて、学生が子育てをはじめ、自分たちのミライについて考えるきっかけになってほしいと感じています。

◎参加した学生のコメント

ヒューマンライブラリーに参加し、障がいのある子どもを育てているお母さんについてのお話を聞きました。障がいのある子どもの親の話は、記事の文章やウェブ上などで目にすることはあっても、生の声を聞くのは初めてでした。文章で見ると語り手も表情や声色などでその方が苦労したことや感じたことなどがよく伝わってきました。

分科会② 大学生×外国ルーツの子どもたち

国境を越えて輪を広げよう！



◎実施概要

外国にルーツのある子どもたちが、国籍や年齢の垣根を越えて楽しむことのできる交流会を地域の施設に向けて企画・運営をした。その活動を通して知った外国ルーツの子どもたちが抱える問題や、子どもたちを支える地域の方々の声や学生に求められることを学ぶ分科会を実施した。

◎企画・運営メンバー

三田村捺希・塩澤凌生・中山彩香・高梨瑛士・臼杵美優希・永井智紘・呉恒鈺・陳霽

◎アドバイザー

木下直子（地域コーディネーター）

◎連携団体

神奈川区多文化共生ラウンジ
友ゆうスペース
たんぽぽプロジェクト六角橋チーム

◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

外国にルーツのある子どもたちの存在は近いようで意外と遠く、学生たちにはそのことに焦点を当てて考える良い機会になったと思います。私たち自身も交流会を通して、子どもたちの元気な姿や笑顔を見ることができ、何より交流し、関係を築いていく上で国籍や年齢、性別は全く関係ないということを身に染みて感じました。これからも多文化共生を目指して、自分たちにできることを見つけて行動していきたいと思っています。

◎参加した学生のコメント

多文化共生について学びを得ることができました。自宅の周りには、外国人の方が多く住んでいます。日本の文化や言葉、ルールが分からず困っている方がいるかもしれません。そのような人たちに気づき手助けができるようになりたいと今回のイベントを通して思いました。



分科会③ 学生×防犯



オレオレ詐欺を一掃せよ！

◎実施概要

オレオレ詐欺撲滅に向けて、若者にできることを考える場を提供した。また、議論を通して、オレオレ詐欺から自身の身を守る方法など、実践的な内容を学ぶ機会にした。

◎企画・運営メンバー

寺嶋ゼミ 4 年生、武内ゼミ 3・4 年生

◎アドバイザー

寺嶋正尚（神奈川大学 経済学部教授）
武内千草（産業能率大学 経営学部教授）



◎連携団体

産業能率大学・武内千草ゼミ・戸塚警察署を初めとする「チーム戸塚」の方々

◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

私たちは、横浜市戸塚区におけるオレオレ詐欺防止の為の活動成果を発表しました。この活動は、産業能率大学・武内千草ゼミと合同で行っています。2024年2月には、戸塚警察署や戸塚少年補導員連絡会よりご協力をいただきながら、両大学のほか、横浜桜陽、舞岡、戸塚高校の教員及び生徒等が「チーム戸塚」を結成しました。当日の分科会は両ゼミ合同で運営し、一連の活動報告を致しました。分科会後半では、参加した学生によるグループワークを実施し、「オレオレ詐欺撲滅のために大学生が出来ること」に関し、提示した施策の優先順位付けを行いました。今回のフォーラムを通じ、地域の方々の為になる活動の意義を再認識し、それに関わることの充実感や、合同ゼミの楽しさなどを経験することが出来ました。

◎参加した学生のコメント

オレオレ詐欺の被害をなくすためのボランティアは、警察などと協力をして取り組んでおり、熱意が伝わった。完全に被害をなくすことは難しいと思うが、このような小さな取り組みが被害者を減らすことに役立つと思った。

分科会④ 学生×ジェンダー



色と制服に性別はある？

◎実施概要

多様性が尊重される時代に、学校の中でジェンダーレスの制服やランドセルが普及してきている。そこで、ジェンダーに関する価値観を自分の経験と結びつきながらディスカッションを通じて考えてもらう機会にした。

◎企画・運営メンバー

奥秋乃愛・王雷・陳景津
橋本結・馬場健司

◎アドバイザー

荻野佳代子（神奈川大学 人間科学部教授）



◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

メンバーそれぞれのジェンダーの捉え方を話し合い、ジェンダーレスとは何か、多様性が広がる世の中で今私たちには何ができるのか考えることができました。また、発表当日には、参加者の皆さんとディスカッションを通してさらにジェンダーの考えを広め、学びを深めました。ジェンダーは身近であり、自分と他者の考え方や個性を尊重することをこれからも心がけていきます。

荻野先生や同ゼミの先輩方、実行委員の方々のサポートに感謝申し上げます。

◎参加した学生のコメント

印象に残った内容は、「なぜランドセルの色は男女でほぼ決まっているのか」です。男子は黒や紺などがほとんどであり、女子は水色やピンク色、赤色などと決まっているということです。昔の風潮や偏見などが今に受け継がれていました。私はこの分科会に参加して、昔からの風潮・偏見を無くしたいと思いました。このかながわユースフォーラムに参加できたことは、とても良い経験だったと思います。

分科会⑤ 海外ボランティア×大学生 一歩踏み出して、知らない世界を見に行こう!

10 REDUCED INEQUALITIES



◎実施概要

宿泊型ボランティアである「ワークキャンプ」を通して世界中で活動を行っているNPO法人。英語が苦手な人や初海外の人でも参加ができる活動であることを、実際に活動を行っていた学生からの話や交流を通し、ワークキャンプの魅力伝える分科会を実施した。

◎企画・運営メンバー

村松勇祐（神奈川大学 卒業生）
金井麻菜・中村文香・米山翔・高橋優華

◎アドバイザー

磯田浩司（神奈川大学 非常勤講師）

◎連携団体

NPO法人good！（特定非営利活動法人グッド）



◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

私は海外ボランティアを通じて様々な人と出会い、退屈だった大学生活が心から楽しいと思えるようになりました。そんな海外ボランティアを「大学生活に彩りを与えるきっかけ」として紹介させていただきました。今回この分科会を選んで、参加してくれた大学生たちの一歩を踏み出すきっかけになっていれば嬉しいです。また、学年を交えてグループでお話できるいい機会にもなりました。ありがとうございました。

◎参加した学生のコメント

海外ボランティアの話では、自分を成長させるための一歩を踏み出すことの大切さを学びました。また、実際にスリランカの海外ボランティアに参加した方のお話のなかで、やったことのないことに挑戦したことで「新たな自分に生まれ変わった」という表現をされていました。この大学生活の中で、ボランティア以外でもたくさんのことに挑戦して、より深みのある自分にアップデートしていきたいと思います。

分科会⑥ 大学生×子どもたちのコミュニティ 大学生と中学生をつなぐ学校ボランティア

4 QUALITY EDUCATION



◎実施概要

教職課程を履修している学生が、日々ボランティアとして地域子ども達へ勉強のボランティアを行っている。今回は大学内で実施している「JIN-KANA学習塾」の紹介と、グループワークを通して、子ども達へ向けた学習ボランティアについて参加者が学ぶことができる分科会を実施した。

◎企画・運営メンバー

水落悠翔・金子蒼・小林大起
高橋主真・福島優香・谷本花蓮

◎アドバイザー

鈴木英夫（神奈川大学 法学部特任教授/教職課程）
佐藤剛（神奈川大学 教職課程・学習アドバイザー）
庄由香里（JYSP事務局）



◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

今回初めてユースフォーラムに参加する機会をいただきました。私達の準備したグループワークで様々な意見をいただくことができ、貴重な機会になりました。昨年度に比べて人数が増え、より活発な活動ができています。教職課程を履修していない方でも興味があれば歓迎ですので、ぜひ25号館にいらしてください。

◎参加した学生のコメント

神奈川大学に「JIN-KANA学習塾」というものがあることを知ることができた。中学生に勉強を教えるのは、そう簡単なことではないが、勉強を教えるだけではなく中学生に寄り添った活動をしていて、自分の大学にこのような団体があることを誇りに思った。

◎実施概要

大学生と町内会が共同し、町内を歩きスタンプラリーをしながら、消火栓などの地域に設置されている防災器具などを周り、防災について理解を深める「防災スタンプラリー」を実施した。分科会当日は発表とグループワークを通じて学生が防災について考える場を作った。

◎企画・運営メンバー

寺嶋ゼミ3年生

◎アドバイザー

萩谷秀人（斎藤分南部町内会会長）
町内会の役員・子ども会の方々

◎連携団体

斎藤分南部町内会の方々



◎学生（企画・運営メンバー）代表者のコメント

地域の方々の防災意識を高めることを目的に、神奈川大学の近隣町内会である、斎藤分南部町内会の方々と一緒に、防災スタンプラリーを企画・運営しました。小学生や未就学児などの、子ども会のメンバーも多数参加し、みんなで「楽しく防災について学ぶ」ことが出来ました。ユースフォーラムでは「企画してきたことを大きな規模で実現する」ため、緊張しましたが、それ以上に大きな充実感や達成感を得ることができました。今後も、今回の取り組みを一過性のものとして終わらせるのではなく、防災以外に関しても継続して参加することで、地域支援やまちづくりに関わっていきたいと思います。

◎参加した学生のコメント

町内会の活動では、同じ班の人たちと非常用持ち出し袋に何を入れるべきか、災害が起きた時にそなえて大学生として今できることは何か考えた。特に後者の議題は難しく、自分ではなかなか意見が出せなかったが、グループ内では災害時に高齢者のサポートをすることができるようトレーニングをするなどの意見が出て、新たな学びを得られた。

ふりかえり

達成点

○各分科会の企画・運営・実施を通して、学生自らが主体的に地域・社会課題に向き合うことで、「実践的能力」の成長につながった。

○社会課題・地域課題の解決に向けたテーマに対して、学生同士が考え、議論し、提案する機会の設定を行うことで、潜在的ボランティア層へのアプローチとなった。

参加者の感想

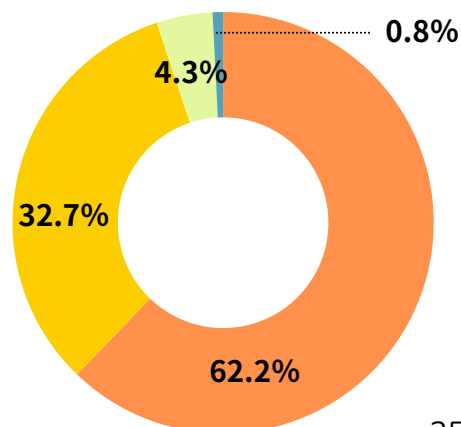
○学べることが多くあり良い機会だったが、この企画を長い期間準備してきた分、当日はもっと時間をとってもいいと思った。

○様々なグループ・団体が地域の交流、困り事に目を向け、活動していることを知ったので、ボランティアの活動が地域の困っている方々の支えになっているのだと感じた。

○たくさんの学生と交流して、考え方等の相違点、共通点に気付くことができた。

かながわユースフォーラムの
評価について

- 大変満足した
- どちらかという満足した
- どちらともいえない
- あまり満足しなかった



n = 254

パネル展

☆横浜国立大学高等学校サステナブル部



「サステナブル研究部ってなに？」
サステナブル研究部で行っている
古着deワクチンや、体力発電などの活
動報告を行っていただきました！

持続可能な社会のために自
分たちができることを探し
て、いろいろなことを実践
していて良かったです！



GREENxEXPO 2027
(2027年国際園芸博覧会)
についてのアンケートも
行いました！

☆神奈川区地域市政推進課



「住みたいまち住み続けたいまち神奈川区」
神奈川区の概要とどんなまちに
住みたいか？のアンケートを
実施していただきました！

住みやすいまちについて
考え始めると、考えがつか
ないと思いました！



☆捜真女学校SDGs実行委員会

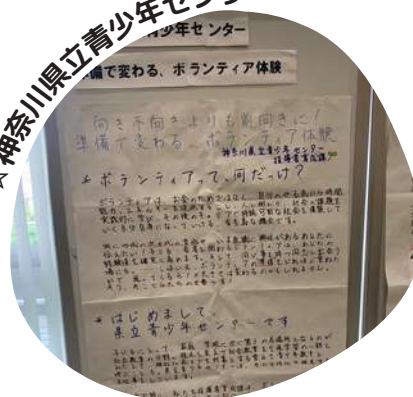


「中高生に伝えるSDGs」

SDGs をより多くの人に（特に中高生
に）知ってもらうための絵本作成プロ
ジェクト「SDGsカラーぷろじえくと」
の紹介をしていただきました！

身近なところからSDGsに
取り組めると気づくことが
できました！

☆神奈川県立青少年センター



「向き不向きよりも前向きに！
準備で変わるボランティア体験」

県立青少年センターの事業紹介と、
ボランティアとは何かについてまとめ
たパネルを用意していただきました！

向き不向きよりも準備が
大事だと言うことやボラ
ンティア初心者にとって
有益な情報であふれてい
ました！

☆KUGCC



「コーヒーを通じた活動」

神奈川大学のコーヒーサークル
「KUGCC」の活動の紹介をしてい
ただきました！興味を持った方は
入会を検討してみてください！

コーヒーにはあまり興味
なかったのですが、面白
そうだなと思いました！



「大学生応援プロジェクト」

生協との共同プロジェクト
「200円夕食」の紹介を
していただきました！

大学生の経済面から
200円でお弁当を売っ
ていることを知って、
ぜひ利用したいです！



「青少年の地域活動って？」

青葉区青少年地域活動拠点
あおばコミュニティテラスの
活動報告をしていただきました！

学生でも居場所が作れる
のなら行ってみたいと思
いました！



「食と農の学び」

体験型研修授業の内容報告をして
いただきました！みかん狩りやア
ジ捌きを行ったそうです！

地域農家などから地域
コミュニティへつなげ
られるところが良かっ
たです！



「自分らしくいられるこどもの遊び場」

川崎市子ども夢パーク、
フリースペースえんの紹介です！
子どもの居場所について
考える機会になりました！

自分の住んでいるところ
にもあったらいいと思
いました！



「横浜まち歩き」

まち歩きで訪問した「ことぶき協働ス
ペース」「横浜市協働推進センター」
「横浜市ボランティアセンター」の
紹介をして頂きました！

パネルが見やすく分
かりやすかったです！



「読書を推進するには」

読書に関する現状等を把握し、
今後の施策に活かすための
アンケートの実施を
行っていただきました！

読書について改めて
考えるきっかけにな
りました！



NPOインターンシップ→
アクションポート横浜



←学生ボランティア支援
ボランティア支援室



かながわユースフォーラム2024のあゆみ!!



コンセプト・テーマ決め
地域の現状を分析する

ワクワク!
ドキドキ...



2月

3月

協力先を探す、訪問する

希望・期待



協力先と連携する
企画内容を考案する

全体会
発足!



4月

チャレンジ

子育て班

ヒューマンライブラリーを行うことを確定



→ヒューマンライブラリー講座で基本を学びました!

多文化共生班
5月、6月に交流会の開催を決定



5月

協力先へ定期的に訪問する

フォーラムに向けて準備スタート



切磋琢磨

本番に向けて最終調整
学生へフォーラムについて知ってもらう



6月

焦り
不安
緊張

全体会

参加団体、学生への説明会
要項の作成
パネル準備 など

7月

本番!



やり切った!
達成感!

Q あなたにとって かながわユースフォーラムとは？



七転び
八起き!!

中山 円祐

仲間と自分に
全力で向き合った場!



高木 栞香

チームで挑戦
気の合う仲間
を見つけている



陳 霖

成長

永井 智敏



新たな★
出会いと学びの場
細 美咲姫



喜怒哀楽を
共有した場

三田村 操希

一生の
仲間を見つけた場。
宮内 春菜

友だちと
協力!
日村 美優希



飛躍

塩澤 凌生

一度以上
出かけた場所

中山 彩香

認め合う。

佐々木 小雲



今後の糧となる
経験々
藤田 悠菜

発見
酒井 夢空



挑戦

米川 実寿

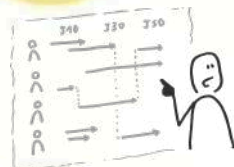


新たな
経験と学びの場
榎田 杏

試練

高梨 瑛士

自分を最大限
活かす場
藏並 永大



挑戦・出会い
成長・自信
吳 恒雄



一緒に戦える
仲間に出会えた
吉倉 雪乃



重宝します。

岩館 明日香

可能性に
気づく場
小澤 陽菜

かながわユースフォーラム実行委員会



地域のみなさんの声！



横浜市神奈川区区政推進課

企画調整係長 井上裕子さん

学生の皆様が主体となり、イベントを創り上げていることがまず素晴らしいと感じました。運営大変お疲れさまでした。活動にあたり様々な人・地域・団体と連携され、当日も関係者とコミュニケーションを取っているのが伝わりました。

県立青少年センター 指導者育成課

青木祐樹さん

学生が主体となり、一つのイベントを企画・運営している姿がとても印象的でした。また、分科会の発表内容も多岐にわたっており、非常に興味深く聞くことができた。



捜真女学校 入試広報室

新井昂太先生

全体会を開く・分科会を開く・パネル展示を実施するというそれぞれのタスクを最低限行うだけであれば比較的容易ですが、それをあれだけの完成度で実施されているところが素晴らしい、その力を身に付けなされたのだらうと感じます。

横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課

生涯学習係長 松山雄貴さん

全体会・分科会・パネル展示等多様なコンテンツがあることに加え、それぞれがバラエティに富んだ内容であることにとても驚きました。また、各ブースも活気があり、色々な方を巻き込んで主体的に実施されている学生さんの姿がとても印象的でした。

六角橋地域ケアプラザ

地域交流コーディネーター 安信昌子さん

学生の皆さんと関わり、頑張っている姿をみてとても勇気をいただきました！地域の方にお繋ぎしていく中で今年だけのつながりにはしたくないです。カフェや子育て拠点の場にいつでも顔を出してほしいなと思いますし、地域の方もそう思われていると思います！本当にお疲れさまでした！



斎藤分南部町内会

会長 萩谷秀人さん

学生が主体的に取り組んでいたのも、こちら協力したいという気持ちが大きかった。経験がないのは当然なので、むしろユースフォーラム等に参加して経験を積めばよいと思う。

地域子育て支援拠点かなーちえ

施設長 東田信子さん

子育て支援に携わる立場として、学生が「子育て支援」について考えること自体が、まずありがたいです。実行委員のみなさんは何度も現場に足を運び、熱心にコミュニケーションし、素晴らしい働きでした！



片倉うさぎ山プレイパーク

瀬嵐理恵さん

地域に若い力を貸していただきたいです。お互い楽しい場がいいですね。どんどん地域の場に参画していただくと嬉しいです。



[illegible]

CREDIT

【主催】

かながわユースフォーラム実行委員2024

(神奈川大学社会教育課程学生有志)

○代表:高梨瑛士(経済3年)

○副代表:酒井夢宙(経済3年)/藤田悠菜(人科3年)

○メンバー

岩館明日香(国文3年)/臼杵美優希(人科3年)/小澤陽葉(人科3年)

藏並弘大(経済3年)/呉恒鈺(人科大学院1年)/佐々木小雪(法3年)

塩澤凌生(人科3年)/高木柚香(人科3年)/陳霽(人科大学院1年)

永井智紘(経済3年)/中山彩香(国文3年)/中山円茄(経済3年)

槇田杏(人科3年)/三田村捺希(人科3年)/宮内春菜(人科3年)

安田美咲姫(人科3年)/吉倉雪乃(法3年)/米川実李(人科3年)

○サポーター

池島由樹(人科4年)/中田千雅(人科4年)/古門克樹(経済4年)

山田優菜(人科4年)/吉沼美優(人科4年)

○アドバイザー

〈神奈川大学〉

齊藤ゆか(人間科学部教授/社教)

寺嶋正尚(経済学部教授/社教)

荻野佳代子(人間科学部教授)

鈴木英夫(法学部特任教授/教職課程)JIN-KANA塾主宰

中川理絵(化学生命学部准教授)

西野博之(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長/社教 非常勤講師)

磯田浩司(NPO法人good!代表/社教 非常勤講師)

高城芳之(NPO法人アクションポート横浜代表理事/社教 非常勤講師)

佐藤剛(教職課程・学習アドバイザー)JIN-KANA塾指導

庄由香里(JYSP事務局)

益田麻衣子・木下直子(社教 地域コーディネーター)

○学外協力者

松山雄貴(横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課生涯学習係長)

井上裕子(横浜市神奈川区区政推進課企画調整係長)

長南悠太(神奈川県立青少年センター指導者育成課)

青木祐樹(神奈川県立青少年センター指導者育成課)

古橋卓(横浜市立東高等学校サステナブル部顧問)

新井昂太(捜真女学校入試広報室)

坪井健(東京ヒューマンライブラリー協会顧問・駒澤大学名誉教授)

萩谷秀人(斎藤分南部町内会会長)ほか町内会有志の方多数

安信昌子(六角橋地域ケアプラザ地域交流コーディネーター)

東田信子(神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ施設長)

岩間良一(神奈川区多文化共生ラウンジ施設長)

大久保智弘(あおばコミュニティ・テラス)

(敬称略、順不同)

(略 称: 社会教育課程=社教)

【協力】

〈神奈川大学〉

社会教育課程学生有志

学生ボランティア活動支援室

KU GOOD COFFEE CLUB 神奈川大学珈琲同好会

〈行政・学校〉

横浜市

神奈川区

小田原市

戸塚警察署

神奈川県立青少年センター

横浜市立東高等学校

捜真女学校高等学部

産業能率大学(武内千草ゼミ)

近隣中学校

〈民間〉

神奈川区社会福祉協議会

神奈川区内横浜市地域ケアプラザ(六角橋・沢渡三ツ沢)

神奈川区多文化共生ラウンジ

神奈川区斎藤分南部町内会

神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

友ゆうスペース

たんぽぽプロジェクト六角橋チーム

すくすくかめっ子

ふれあいっこ三ツ沢

川崎市子ども夢パーク

NPO法人good!

NPO法人アクションポート横浜

あおばコミュニティ・テラス

東京ヒューマンライブラリー協会

🌸 報告書編集委員会メンバー 🌸

高木柚香(人科3年)/藤田悠菜(人科3年)

三田村捺希(人科3年)/宮内春菜(人科3年)

安田美咲姫(人科3年)/吉倉雪乃(法3年)



かながわユースフォーラム2024を通し、大学周辺地域自体やそこに住む人々のこと、地域で活動するNPO法人団体や地域コミュニティ団体の現状を深く理解することができました。また、活動していく中で同じ志を持った仲間たちの存在が非常に大きなものであったことを身に染みて感じました。以上の事柄の重要性に気づくことができたのは、ひとえに、先生方や地域コーディネーターの方々、並びに協力団体の方々や参加して下さった学生の皆様のご支援とお力添えの賜物です。この場を借りて深く感謝申し上げます。 報告書編集長: 安田美咲姫(人科3年)